

くまとり

# 羊人会だより

No.55  
令和3年11月  
発行



ただいま、おかえり、やっぱり熊取。



七山地区 農業振興地域

# ひまわりバス無償化、学校給食費無償化、保育所等副食費無償化を12月まで延長

## 令和2年度決算を賛成多数で認定

### 9月定例会



二見裕子議長

9月8日から30日までの日程で9月定例会を開催。緊急事態宣言中、

感染症対策を取りながらの開催となりました。

人事案件2件、条例改正、補正予算（熊取町版緊急生活・経済支援第3弾としてひまわりバス無償化、学校給食費無償化、保育所等副食費無償化を12月まで延長・新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費等）、一般質問、会派代表質問、令和2年度決算、議員提出の意見書5件等が審議され、すべての議案が可決、認定されました。

### 議会から藤原町長に要望書を提出！

コロナ禍で影響を受けている住民生活を下支えし、地域経済を支援するとともに、新型コロナウイルスワクチン接種を促進するため「熊取町版緊急生活・経済支援（第3弾）」を9月末まで実施していますが、感染拡大が止まらない状況から、次の項目について今年度末まで延長することを議会から要望しました。

- 町内循環バス（ひまわりバス）の運賃無償化
- 町立保育所、民間保育園、認定こども園、幼稚園の副食費の無償化
- 町立小中学校の給食費の無償化

### もくじ

9月定例会	2～3ページ
決算審査特別委員会	4～5ページ
令和2年度決算の状況	6ページ
決算に対する討論	7ページ
会派代表質問	8～9ページ
一般質問	10～13ページ
よりよい議会を目指して	14ページ
泉州南消防組合の動き	15ページ
ESD教育について学ぶ	15ページ
12月定例会の予定	16ページ

## 令和3年9月定例会提出議案 町長提案 16 件、議員提出議案 5 件

### 本会議で審議した人事案件

【議案第45号】 公平委員会委員 はやし やよい 林 弥生氏の選任を同意

【議案第46号】 教育委員会委員 つちや ひろのぶ 土屋 裕睦氏の再任を同意

### 総務文教常任委員会 主な議案

【議案第48号】 議場映像・音響システム等の購入について

議場の無線式卓上マイク45本など、映像・音響システム物品の購入。

- ・指名競争入札による契約

契約先：(株)会議録研究所 大阪営業所

契約金：1,537万8千円

【議案第50号】 令和3年度熊取町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,587万円を追加し、総額を150億9,080万9千円とする。

- ・新型コロナワクチン接種にかかる体制整備
- ・熊取町版緊急生活・経済支援（第3弾）延長分
- ・地方交付税交付額確定



### 事業厚生常任委員会

【議案第47号】 廃棄物の減量化及び適正処理条例の一部を改正する条例

本町のし尿及び浄化槽汚泥処理に関する事務については、令和3年4月1日より泉佐野市田尻町清掃施設組合に委託している。9月末をもって残業務が完了し、施設を廃止することから、大原衛生公苑の項を削る。令和3年10月1日から施行。

【議案第51号】 令和3年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ9,616万2千円を追加し、総額を52億3,914万7千円とする。

- ・前年度繰越金等

【議案第52号】 令和3年度熊取町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ221万7千円を追加し、総額7億2,463万9千円とする。

- ・広域連合負担金等

【議案第53号】 令和3年度熊取町介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,955万1千円を追加し、総額40億1,819万4千円とする。

- ・前年度繰越金等



### 意見書を採択 〈関係省庁へ提出しました〉

- ・中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書
- ・子どもを性犯罪被害から守るために刑法規定を見直すこと等を求める意見書
- ・女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書
- ・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- ・出産育児一時金の増額を求める意見書

ここが  
聞きたい

# 決算審査

# 質疑

## 特別委員会



鱧谷陽子 委員長

9月10日の本会議において本委員会に付託された、令和2年度一般会計及び各特別会計、下水道事業会計、水道事業会計の決算については、9月21日、24日、27日の3日間にわたり審議しました。各委員からの活発な質疑がありましたので、その内いくつかを、お知らせします。

動画は  
こちら



### ふるさと納税

**問** ふるさと納税の寄付額が昨年と比べ倍くらいになった要因は？

**答** 返礼品の数を増やした。

**問** ふるさと応援寄付金、今後は謝礼品以外で考えはあるか？

**答** 返礼品の数を増やすことが寄付実績の増加に繋がる。企業版やクラウドファンディングも検討し、財源の確保につなげる。

### 子育て支援

**問** 子ども基本条例の制定は、いつ頃をめどにしているのか？

**答** 令和4年3月定例会に上程予定である。

**問** 令和3年度から貝塚市では「18歳までの子ども医療費補助」が実施された。本町での実現のめどは？

**答** (町長) 子どもの年齢が18歳と法律で確定した。貝塚市での子ども医療費補助の拡大は無視出来ない。前向きに取り組んで行く。



### 防災

**問** 雨山川災害復旧工事が令和2年度で完了した。何回も追加工事をしているが、総額はいくらか。

**答** 工事費2億468万円、設計委託料2325万円合計2億2793万円。財源は、国費7千万円、地方債1億1511万円、4282万円が一般財源。

**問** 耐震改修補助1件に比べ除却補助が22件。補助の基準年を建築基準法が改正された平成12年とする自治体も増えている。本町はどうか？

**答** 令和3年度中に耐震改修促進計画を見直す予定。その中で検討したい。



田中豊一 委員



坂上昌史 委員



田中圭介(副委員長)



文野慎治 委員



二見裕子 委員



坂上巳生男 委員

## 住民サービス・生活

**問** 現行の事業のあり方で、各自治会で発生している問題の解決は図れるのか？

**答** 加入率の低下等の社会的問題に起因する大きな課題に対しては、これまでの取組に併せて新たな取組を検討していく必要があると認識している。

**問** 図書館ふれあい事業の「まちサロン」はどのようなものか？

**答** 商工会の協力で、お店情報コーナー展示の中から、事業者が専門的な事を住民さん向けの講座を開く。

**問** 令和2年度の老人福祉センターの利用者数は？

**答** 令和元年は1万3780人、令和2年は8272人。コロナの影響で利用者は減っている。

## その他

**問** 談合事件で確定した賠償金の支払い状況と、今後の対応は？

**答** 本年9月で分割納付は完納となり、完納者は12者、未払者は11者。未払者の対応は顧問弁護士と十分協議のうえ対応する。



## ひまわりバス

**問** ひまわりバスの見直しで駅ロータリーへの乗り入れを具体化するべきでは？

**答** 「公共交通会議」での議論の結果も踏まえ、ルートや駅前ロータリーへの乗り入れ、路線バスとの調整を進めて行く。

**問** 高齢者運転免許自主返納支援事業において、返納した方に有効期間5年間の町内循環バス無料定期乗車券を交付しているが、期間の延長は？

**答** この先、期間の延長について検討する。



議員の態度表明(○賛成 × 反対) 態度が分かれたもののみ表示 (議長は、賛否同数の時のみ表明し、議案の成否を決定します)

9月定例会審議案件	議員名	田中豊一	大林	浦川	坂上昌史	文野	鱧谷	渡辺	田中圭介	河合	矢野	江川	坂上巴生男	二見議長
	会派	創生	創生	未来	未来	熊愛	共産	公明	新政	新政	新政	共産	共産	公明
令和2年度熊取町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	—
令和2年度熊取町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	—
令和2年度熊取町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	—

【会派名】 創生：創生くまとり 共産：日本共産党熊取町会議員団 公明：熊取公明党 新政：新政クラブ

# 令和2年度一般・特別・企業会計決算状況

## 【一般会計】

### 歳入

歳入決算額	203億9,140万8千円
歳出決算額	196億4,987万1千円
歳入歳出差引額	7億4,153万7千円
翌年繰越額	6億9,074万1千円
実質収支額	5,079万6千円

### 歳出

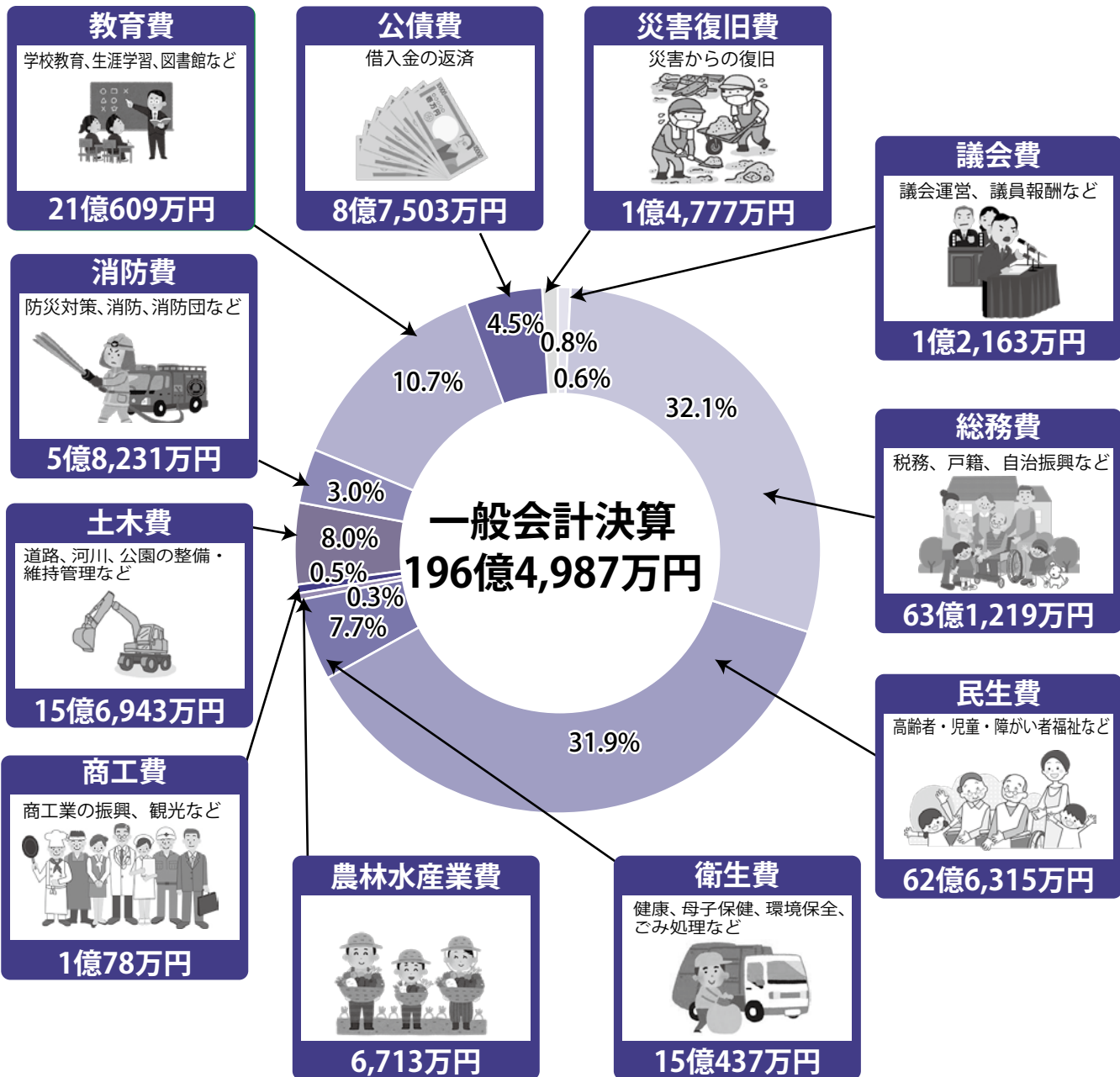
議会費／議会運営、議員報酬など  
 総務費／税務、戸籍・住民基本台帳、自治振興など  
 民生費／高齢者・児童・障がい者福祉など  
 衛生費／健康、母子保健、環境保全、ごみ処理など  
 農林水産業費／農業、森林保全など  
 商工費／商工業の振興、観光など  
 土木費／道路、河川、公園の整備・維持管理など  
 消防費／防災対策、消防、消防団など  
 教育費／学校教育、生涯学習、図書館など  
 公債費／借金の返済  
 災害復旧費／災害からの復旧

## 【特別会計】

国民健康保険事業	47億7,975万円
後期高齢者医療	7億402万円
介護保険	35億7,218万円
墓地事業	2,088万円

## 【公営企業会計】

水道事業	
事業収益	9億2,948万円
事業費	10億346万円
下水道事業	
事業収益	11億2,315万円
事業費	10億7,070万円



※単純四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

# 決算に対する討論(要旨)

## 反対

共産党議員団



職員削減・保育所民営化を問題とし反対

新型コロナウイルス感染症拡大の下で、給食費無償化など緊急生活・経済支援策を打ち出し、ワクチン接種に努力されてきたことに敬意を表する。しかし、令和2年度の町政執行において大きな問題点がある。

第1は職員削減。第3次行革による職員削減は、平成28年度と令和2年度末の比較で、334名から313名へと21名もの削減。職員削減の方針は撤回し、必要な職員は補充すべきだ。

第2は保育所の民営化。子ども・子育て会議に諮ることもなく、保護者への説明も「公立はお金がかかる」から民営化するという論理。民営化で「配慮を必要とする児童の保育」が保証されるのか不安だ。残る3保育所は公立保育所としての役割を明確化し、子育て支援の中核施設として保育の充実を求める。

## 賛成

創生くまとり



コロナ禍の中での健全財政運営を評価

令和2年度一般会計決算は、収支ともにコロナ禍での行政運営に苦心が見られ、実質収支は約5079万円の赤字、経常収支比率も93・2%とほぼ横ばい、健全財政が維持された。

小中学校のICT環境も整備を完了し児童・生徒一人一人へのタブレット端末の配布も完了、町税徴収率98・3%の実現、駅西地区整備への積極的な取り組み、保育の待機児童ゼロの実現。

少子高齢化と人口減少社会への対応により都市間競争を勝ち抜き、住みたい街・住みたい街の実現に向けた町政運営に期待を持ってエールを送りたい。

## 賛成

未来



グローバル人材の育成・ESD教育の取組に期待する!

ふるさと応援寄付については、まだまだネット上での露出は先進自治体に追いついていない。色々な施策を期待する。

学校教育について、ALT、学校図書館司書の配置についての効果を数字で示すことは必要と感じる。グローバル人材の育成・ESD教育についても、効率的・効果的な取り組みを期待する。

防犯については、目標であった街頭防犯カメラ1000台の設置は達成したが、通学路に注目するとまだ足りているとは言えない。通学路を中心に増設を期待する。

## 賛成

熊愛



課題解決へ継続した取組を期待!

歳入・歳出とも大幅に増加したが、令和元年度に引き続き黒字決算になった。

町税徴収率も前年と同じ数字を確保し評価する。

財政改革を進め、効率的に事務事業を運営し組織のスリム化が不可欠。

「談合賠償金の回収」について一部時効を迎えるにあたり、町方針の確立が急務。

防災は、コロナ禍において三密対策を兼ね備えた地区別自主防災マニュアル作成を。

道路整備の計画は進んでいるが、外環状線の渋滞解消は待った無しの状況。早急に強力な行動を。

特別委員会での意見要望は政策提言であり、スピード感を持った政策決定・改革を望む。

## 賛成

熊取公明党



3回に渡る熊取町版緊急生活経済支援を評価

実質収支は約5079万円の赤字、経常収支比率は横ばい。ふるさと応援寄付金4億4600万円確保し評価。今後は、クラウドファンディングの導入や奨学金返還支援事業の導入を望む。施策としては、おくやみコーナー、子育てアプリ、LINE通報システム、防犯カメラ1000台設置、病児病後児保育、産後ケア事業、GIGAスクール構想の実現、小中学校のトイレ洋式化、老人憩いの家の耐震化等を評価。今後は、地区別防災マニュアルの早期作成、子ども基本条例の早期制定、持続可能な公共交通の確立、各学校での生理用品の無償配布等を望む。コロナ感染症対策として、自宅療養者への食料・生活支援、宿泊費補助や追加の生活・経済支援を望む。

# 会派代表質問

3月(予算)・9月(決算)定例会において会派を代表して行われます。

大学生等の奨学金肩代わり制度の導入を！  
地区別自主防災マニュアルの早期作成を！  
府と連携し、濃厚接触者への食料等支援を！

熊取公明党 渡辺 豊子



## 転入定住促進について

**問** 転入・定住の成果と現在の取り組み状況と課題については？

**答** 社会増減数は、3世代近居等支援対象年代は74人減少。社宅等誘致支援対象年代は165人減少。現状は、3世代近居等は14件の申請がある。社宅等は0件。課題解決として、集中的周知と営業活動を行う。

**問** 大学生等の就職期層をターゲットとして、奨学金の肩代わり制度を導入してはどうか？

**答** 慎重に判断すべきものと考えます。

**要望** ターゲットとしている年代が、求めている施策の導入を図って頂きたい。

## 防災対策の推進について

**問** 令和2年度の防災事業のKPIは、自主防災マニュアル作成率0%、自主防災訓練実施率35.9%で、自己評価はB。B評価についての説明を求めます。

**答** コロナ禍でも訓練に取り組み、自主防災マニュアル作成の必要性を共有できたからBとした。

**問** コロナ禍での避難所運営については？

**答** 8月に南中学校と南小学校を避難所として開設した。受付時に手指消毒、検温、健康状態チェックシートによるスクリーニング等準備した。空調設備のある多目的教室や図書室を避難所とした。

**要望** 高齢者等避難スペースとして、2階は検討すべき。



南中学校避難所受付

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 妊婦やその配偶者らへの優先的ワクチン接種については？

**答** 集団接種での優先接種枠を設置した。

**問** 府との情報共有と連携については？

**答** 保健所等と連携し、個々の状況に応じた対応に努める。

会派質問の動画はこちら▶



転入定住促進特別サイトのアクセス数を伸ばすために  
役場窓口のキャッシュレス化

未来 坂上 昌史



## シティプロモーション事業について

**問** 転入定住促進特設サイトへのアクセス数のKPIの目標値は低くないか？

**答** 2期戦略の策定段階で、目標値が低すぎるとの指摘があり1000件を積み増しし上方修正した経緯がある。令和2年度実績は4601件と上積みした目標値を達成できなかったが、更なる上積みを目指していく。

**問** 子育て世代へのブランドイメージをさらに浸透させるべく「メッセージの発信」をより効果的に行う必要がある。町ホームページの更新において転入定住促進特設ページをリニューアルし、わかりやすく伝えられるようしっかりと取り組んでいく。

**要望** 今までの特設サイトは更新頻度が低かった。今後は更新頻度を上げて町の子育て教育に関わる施策を積極的に発信して頂きたい。

**熊取町のキャッシュレス化について**

**問** 役場の窓口でのキャッシュレス化は？

**答** 役場窓口のキャッシュレス化は実施が不可欠なものと認識している。今年度においては、導入に向けた検討に着手している。令和4年度当初予算計上に向けて進めているところ。

る。導入に当たってはQRコードをはじめクレジットカードや交通系ICカードなど複数  
の支払いに対応可能としサービスの向上が実感できるよう進める。  
**要望** 手数料の支払いだけでは無く施設利用料もキャッシュレスの対象となるよう検討して頂きたい。



会派質問の動画はこちら▶





地区老人憩いの家の耐震改修と今後の計画は？  
 雨山川災害復旧工事を教訓とした造成工事、  
 特に盛土工事地区の点検と開発指導は？

創生くまとり 田中 豊一 たなか とよかず



地区老人憩いの家の耐震の改修状況について

問 耐震改修の状況は？箇所を明らかに。

答 耐震改修必要な26か所の内、単独20か所（大宮地区を除く）は、

本年中の改修の目途が立った。公民館と老人憩いの家併設施設の改修は、目途が立っていない。

問 単独の施設の平均改修費は？

答 耐震改修は、診断、設計、工事費で、平均改修費は、1900万円程度、屋根や外壁等の長寿命化の改修費も含めての金額となる。

地区公民館と憩いの家併設施設の耐震改修

問 公民館と老人憩いの家の併設施設の6地区の耐震改修は、思い切った補助制度を示さないに進まないのではないか？

答 耐震診断を町の負担を含めて対象地区と協議を進めたい。

問 全ての老人憩いの家の耐震改修を公約にしている町長の決意を表明して欲しい。

町長答弁 この問題の解決については、情熱を持って進めて行く。



盛土工事の点検と開発指導について

問 開発指導での盛土工事の擁壁工などに工種変更は可能か？

答 対応は可能だが、周辺の公共施設に影響を与える場合となる。

問 熱海市の土石流災害の様に盛土工事が機縁となる災害も発生している、大阪府条例や熊取町では盛土工事を指導する条例が有るが、対象にならない工種もあり、適正な関係部署での指導が必要では？

答 大阪府と熊取町の関係部署の連携により周辺への影響の及ばない様に適切に対応して行く。

会派質問の動画はこちら▶



盛土造成地の地盤調査と安全対策求める  
 コロナ禍での住民生活を支える追加支援策を

日本共産党熊取町会議員 坂上 巳生男 さかうえ みきお



住宅地隣接の土木工事は地盤調査が重要

問 住宅地に隣接した土木工事では、地盤調査が極めて重要では。

答 雨山川災害復旧工事の検証過程において、その重要性を再認識した。住宅開発時の造成図面など地盤の成り立ちがわかる資料を収集し、事業実施の際にも設計者、施工業者との情報共有も重要だと認識している。

問 住民から危険個所の情報が提供された場合は、今後どのように対応するのか。

答 住民の方からの異変情報のみで、災害発生の可能性を町職員が判断するのは困難。異変を確認した場合、地盤を専門とする協会などに協力を依頼し、災害規模の縮小に努めたい。



月に変更するなど、事業規模の縮小や、内容変更も含め、適切に判断する。

要望 駅前記念植樹に2500万円。入札減などで経費は縮小するが、住民生活に配慮し更なる見直しを。追加支援策を求める。

問 住民生活を応援する施策を実施しているが、さらなる追加支援策も必要では。

答 9月末終了の保育所副食費・小中学校の給食費無償化、ひまわりバスの運賃無償化について12月末まで延長の補正予算を提案。感染状況を注視しながら、必要な支援策を検討したい。

70周年事業の見直し

問 コロナ禍で住民生活の困難が続いている中、8500万円規模の町制70周年事業を進めている。見直しが必要ではないのか。

答 6月30日開催の「懇話会」で記念事業の内容を了承いただいた。11月に開催予定していたコンサートは来年2

会派質問の動画はこちら▶



「コロナ感染対策」の経験を次に活かす！  
異常気象は大規模災害の引き金、対応を！

ぶんの  
文野 慎治



**現状** コロナウイルス感染の現状

**問** ワクチン接種の状況、感染者数とその年齢区分等は。

**答** 協力医療機関で十分な接種体制が確保され、順調に推進されている。(別表に記載)

**問** withafterコロナに対応する為、国・府へ何を要望するか。

**答** 地方税の減収や生活・経済支援対策に係る地方負担が増加。影響のある期間中は継続的に財政措置を講じるよう国・府へ要望。町村長会を通じ10町村の統一要望として財政支援に関する要望を府に行っている。

「コロナウイルス感染の現状」	
<b>■接種状況</b>	○令和3年5月10日 65歳以上の接種開始。 順次対象者を拡大 令和3年7月30日 12歳以上も接種可能対象に ○令和3年9月6日現在 1回接種者 約28,800人 2回目接種済者 約23,000人(対象者の59%)
<b>■年齢区分接種率</b>	○1回でも接種した方 ・65歳以上 約89% ・60~64歳 約87% ・40~50歳 約77% ・39歳以下 約53%
<b>■感染者数</b>	○令和3年9月5日現在 累計発生者503人(人口10万人対1,151.8人 府下32番目) ○3市3町の感染者数 令和3年3月~7月 陽性者 1,191人 ・30歳代以下 約47% ・40~50歳代 約30% ・60歳代以上 約23%
<b>■町立学校の現状</b>	○国・府の感染症対策マニュアル等に基づき、対策を徹底したうえで通常形態で2学期を開始している。こまめな手洗いの徹底やマスクの着用、感染リスクの高い教科活動を避け、教育活動を行うと併に、児童生徒の学びの保証や心身のケアに努めている。
<b>■PCR検査「熊取モデル」の活用実績</b>	○行政検査は、令和2年度 62件、 令和3年度 145件 ○クラスター防止対応 令和2年3年度合計 8事業所合計 152件

**要望** この間経験した「医療崩壊・脆弱問題」「機能不全に陥った保健所機能強化」「感染時の療養施設の確保」等、早急な取組を望む。

**問** 災害発生危険個所の監視体制について

**答** 何箇所把握し、監視対象になっているか。

**答** 法的に指定警戒区域が62箇所。この他過去に崩落し工事を施工した雨山川法面、永楽線道路法面等がある。

**問** 豪雨時の対応は。

**答** 現場巡回し土嚢の設置等対応。豪雨後も、道路の通行障害や河川・水路の通水阻害等の安全確認し適切に現場対応している。

**要望** 雨山川災害復旧工事の「検証委員会」の設置は評価する。「提言」を真摯に受け止め、今回の経験を形として残すべき。災害は思わぬ処でいつ発生するか分からない。日々、緊張感を持ち職務遂行して欲しい。

**会派質問の動画はこちら**



空き家対策で街の活性化を！  
熊取町公民館、町民会館ホール  
整備事業は慎重かつ大胆に！

おのの  
大林 隆昭



**問** 空き家対策について

**答** これまでの取り組みとその成果は。

**答** 空き家バンク、空き家相談員制度を作り対応してきた。これまで、空家所有者登録は4件、利用希望者登録は9件、相談会の実績として15件の相談を受けた。

**問** さらなる空家対策は考えているか。

**答** 産業振興の観点で空家活用を考えている。

**問** 熊取町で空家を把握することが大切である。優遇措置の廃止と新たな支援策の活用で、積極的に空家の把握に努めては。

**答** まち育てプランが令和4年に中間見直しとなる。新たな補助金などを考えていきたい。

**町公民館、町民会館ホールの整備について**

**問** 駐車場確保についてどう考えているか。

**答** 現状と比べると減少する。可能な限り駐車場確保に努めていく。

**要望** 駐車場台数の減少は住民サービスの低下に繋がる。しっかりと対応してほしい。

**問** 設計に利用者の意見をとり入れすぎでは。

**答** 利用者だけでなく、様々な立場の方からの意見を伺い、それを取捨選択し、進めている。

**問** こ5年間でホールから人が溢れるような催しはあったか。

**答** 観客席から人が溢れることはなかったが、舞台部分は、吹奏楽などで使用すると手狭である。

**問** 舞台部分を広くすればいいのでは。

**答** 400席の既存施設が無い。今後、成人式や中規模音楽イベント開催には400席が良いと考えている。

**要望** 現状の敷地で建てられる最大限の大きさで良いのではないかと長く町民の皆様に愛される施設になるように、取り組んでいただきたい。



「プラごみゼロ・熱中症対策として、マイボトル用給水機の設置を！」  
 通学路の安全確保を！  
 お昼寝用布団のレンタル対応、  
 使用済みオムツの処分を！

渡辺 豊子



エコプロジェクトの推進について

**問** マイボトルの普及啓発への取り組みは？

**答** 「おおさかマイボトルパートナーズ」に参画している。

**問** プラスチックごみゼロの推進と熱中症対策としてマイボトル用給水機を公共施設や小中学校に設置しては。

**答** 衛生管理面で慎重に判断したい。小中学校への設置は考えていない。

**要望** 「持ち歩こうマイボトル」はSDGsの目標達成に寄与するもの。「おおさかマイボトルパートナーズ」に参画しているなら給水スポットの設置を！

**町長答弁** 財政的なこともあり、総合的に検討し、進められることは取り組んでいきたい。



和泉市庁舎のマイボトル用給水機

討し、進められることは取り組んでいきたい。

**通学路の安全確保について**

**問** 小学校の通学路の合同点検は？

**答** 7月21日から8月6日までの間で実施。14か所を危険箇所として安全プログラムに位置付け、公表する。対策については路側帯のカラー化、防護柵設置等、進捗管理を行う。

**問** 現状課題となつている危険箇所についての対策は？

**答** 久保変電所前の変則交差点の安全対策は、8月末に歩行者だ



久保変電所前交差点

まりにポストコーンを設置した。

**保育サービスの拡充について**

**問** お昼寝用の布団のレンタル対応、使用済みオムツの保育所での処分についての検討状況は？

**答** レンタル対応については衛生面や自己負担額等、レンタル方式について検討している。使用済みオムツの処理についてはダストボックス等の調達、保管場所の確保等、処理体制を検討している。

一般質問の動画はこちら



認可地縁団体のメリット  
 町民栄誉賞  
 ひまわりドームの利用者

河合 弘樹



**認可地縁団体について**

**問** 法人化のメリットとデメリットは？

**答** 現在、熊取町では、11の区・自治会を認可地縁団体として認可しており、法人化のメリットは、自治会名義で資産を保有できる点で、自治会が所有する不動産などの財産は、法人格を持たない自治会では、自治会名義で所有できないため、自治会長の個人名義や役員の名義で所有する運用となり、名義変更や相続時などにトラブルが生じる可能性がある。法人格を持つ認可地縁団体の場合は、自治体名義で所有でき、安定した自治会運営が可能になる。デメリットは法人化にあたり、代表

者である区・自治会長が交代する度に町への届け度と、法人の運営として規約や議事録の作成が必要となる。



**町民栄誉賞について**

**問** これまでの経緯は。

**答** 平成24年4月に新設した。制度創設から現在に至るまで、「町民栄誉賞」の受賞者はいない。

**要望** もう少しハードルを下げた熊取町初の町民栄誉賞を選出して頂きたい。

ひまわりドームについて

**問** 町内、町外利用者の人数、割合は？

**答** 団体利用については、団体登録の代表者の住所により、町内、町外の区別は可能だが、その他団体の構成員全員まで把握できないのが実状である。毎年、指定管理者が実施しているアンケート調査によると、過去3年間、町内利用者は約7割から8割である。

**問** 町内、町外の利用料を別料金にしては？

**答** まずは町内、町外の利用者の状況把握に努め、利用料を別料金にするか検討したい。

一般質問の動画はこちら



# 一般質問

住民の命と生活をまもる、新型コロナ対策を！

江川 慶子 えがわ けいこ



コロナ感染者急増の状況下、町の対策は？

問 町内で7月末から8月にかけて200人余りと感染者が急増している。自宅療養者への支援の状況は？

答 自宅療養者については、原則40歳未満の軽症者で重症リスクの無い方が対象。保健所がすべて対応する。オンライン診療や訪問体制も整備されている。

要望 保健所が職員削減等で十分に発揮されていない今、町も科学的見地に立って支援を強められたい。

問 デルタ株が子どもにも急増している。無症状であるため、安心して登校できるよう小中学生全員にPCR検査をしてはいかがか？

PCR検査体制【熊取モデル】の実績集計表

年 月	令和2年度	令和3年度	計	
	クラスター対応	7	145	152
行政検査	61	145	206	

答 一定必要であると考ええるが現状では課題が多い。検査を躊躇(ちゆうちゆう)される児童生徒や保護者への配慮対応が必要。国や府の要請を踏まえ感染対策を十分やっていく。

問 関西医療大学と連携のPCR検査「熊取モデル」の活用拡大は？

答 実績は左表の通り。必要な検査が迅速に対応できるように有効

活用していく。  
問 住民への生活支援で継続するものと新たな支援策は？

答 熊取町版緊急生活・経済支援(第3弾)の内、保育所等副食費、小中学校給食費、ひまわりバスの無償化を12月31日まで継続。新たな支援は状況を踏まえ地方創生臨時交付金(事業者支援分)の活用を含め適切に検討する。ワクチン接種後も感染予防対策は引き続き重要。

要望 国や府へ「逼迫する保健所への支援強化を」必要な医療が受けられるよう病院の「再編・統廃合計画」の撤回を求めている。

会派質問の動画はこちら▶



子ども達向け

「グローバル人材の育成」に力を入れよ

浦川 佳浩 うらかわ よしひろ



タブレット端末を利用した「国際交流(異国との交流)」について

問 今年の春、小中学生一人一人にタブレット端末等が整備され、併せてインターネット環境も整ったことにより、どの国にも繋がる事が可能となり、児童達にSDGs並びにESD教育を深める為の環境が整ったが「国際交流」は取り組んでいるのか？

答 学校に居ながら世界中の人々と交流できる事は非常に便利な事であるが、パソコン画面を通しての交流は、五感を使って得られる情報が限られるため、他教科等での学びも生かして取り組む事が必要だと考える。



要望 他の小学校では異国の小学生と合同でパソコンを使って遠隔授業を実施したり、新興国の子ども達と「環境問題」について英語で話しあったりしている。本町では、インターネット環境が整備されているにも関わらず、残念ながらICTを使った国際交流は何ら実施できておらず、他の自治体との間で教育格差がどんどん開いている状況だ。教育格差を無くす為にも早急に取り組んで頂きたい。

ユネスコスクールへの加盟について

問 ユネスコスクールに加盟すれば、世界的なネットワークの一員となり、国際交流を実施するノウハウも得られる。是非加盟して頂きたいがどうか。

答 各小・中学校に情報提供し、支援してきたい。



一般質問の動画はこちら▶



## 感染拡大の猛威から

### 園児・児童・エッセンシャル ワーカーを守るうー！

矢野 正憲



SDGs、ジェンダー平等の観点からの  
学校の決まりの見直しを！  
高齢者の補聴器購入への公的助成を！

はもとに  
鯉谷 陽子



**問** 緊急事態宣言下で

も、保育所・学童は開所を求められており、現場は感染拡大の脅威・感染リスクを抱えての業務遂行で本当に大変で頭の下がる思いだ。

**職員**の負担軽減・メンタルヘルス・慰労金などの考えは？

**答** 本来の子どもの保育と、日々の感染症対策で身体的・精神的な負担が増大し、ストレスは大きいものがある。ワクチンの優先接種を行う事で、自身や子どもへの感染リスクを抑える事ができ、心理的な負担の軽減にも繋がっていると考えている。また、保護者への注意喚起と同様に、職員に対しても体調に異変を感じたら必ず出勤を

控えるよう周知し、感

染の不安に対して遠慮なく休めるなどの職場環境づくりが安心感を与えると考えている。

昨年「熊取町版緊急生活・経済支援（第2弾）」で、町民の子どもを守るという強い使命感を持って業務に従事した職員へ、1人3万円

の応援特別給付金を支給したところだ。再度の給付については感染拡大や住民のワクチン接種の状況を見極めながら、しかるべき時期に適切に検討する。

**問** 感染リスクの高いエッセンシャルワーカーへの定期的なPCR検査の実施は？

**答** 概ね1〜2週間に1回の頻度で定期的なPCR検査を受けるこ

とができ、医療従事者

によらず自身で検体を採取し、検査費用も無料で行う事のできる国が実施しているモニターリング検査のモニターへの参加協力を求める通知があった。各保育所から参加申し込みを行い定期的に職員のPCR検査を実施していく予定だ。様々な方法・機会を活用し、感染拡大防止に努めていく。

見直しが必要であると

考えている。熊取中学校においては、女子生徒もスラックスを選択でき、他校も配慮が必要な生徒に対し、個別に対応、相談できるようにしている。

**問** 社会的イメージや役割分担によって、男女格差が生まれてい

る。女性用、男性用制服をなくし、将来的には制服をなくすことはできないか？

**答** 制服を変更することや、なくすことは、児童生徒や保護者の意見を丁寧聞き、判断していく。今後、社会状況や児童生徒の状況を踏まえ、各校で、自他ともに大切にできる子の育成、男女平等など人権教育を進める。

**要望** 学校、先生、生徒、保護者で話し合い、ジェンダー平等の社会へ近づくことを望む。

**問** 高齢者補聴器購入へ公的支援を

**問** 加齢性の難聴は認知症やうつに繋がる。介護予防の観点からも補聴器購入に公的補助



一般質問の  
動画はこちら



一般質問の  
動画はこちら



# より良い議会をめざして！

## 議 会 改 革

## 検討特別委員会

第2回臨時会で委員会メンバーが交代となり、第1回を9月15日に開催。



●議会機能の強化、効率的な議事運営等、より一層「開かれた議会」を目指すため、

- ☆議会の活動について
- ☆議員の職務について
- ☆議会報告会について
- ☆議会だよりについて
- ☆議会ホームページについて
- ☆議会インターネット録画配信について
- ☆議員定数・報酬について

町内在住、18歳以上の方を対象とした全29項目のアンケート調査を決定(令和3年10月に実施しました)

●今後は、議会報告会のあり方、情報発信、政策討論会などを調査、検討。

### 泉州南消防組合議会の動き

## 「入院患者待機ステーション」を設置

新型コロナウイルス感染症患者が病院へ搬送されるまでの待機場所として、泉州南消防組合本部の敷地内に「入院患者待機ステーション」が設置されました。

入院先が長時間決まらない場合には、一時的に搬送者を受け入れ、酸素投与も可能で、救急隊員が救急処置を行います。万が一の時は、医師も駆けつけてくれます。

また、令和2年度決算については、一般会計の総額が歳入歳出それぞれ37億7,600万円で認定されました。熊取町の負担額は5億1,300万円で前年度より1.0%増となりました。



# ESD 教育について学ぶ!

## 熊取町教育委員会を講師に勉強会を開催



で取り組んでいることや、違いを認め合うこと、一人ひとりを大切にすること、多面的総合的に考える力、更には他者と協働して問題を解決する力等を育てているといった説明があった。

また、教師達もカリキュラムマネジメント（教科横断的な視点で組織的かつ計画的に改善させていき、教育の質の向上を図る）に取り組み、自身の質の向上も図っているといった説明があった。

一方課題としては、本町では各校によってそれぞれ特色ある取り組みを推進しつつも、児童達がESD教育を遠い世界で起こっている問題ではなく、自分達一人一人の行動で世界が変わるという事を主体的に、自分事として捉える為の取り組みや、グローバルの視点を持つ為の取り組みが十分では無いといった問題も共有した。

議会としてもESD教育についての理解を深めることができた。本町はESD教育を推進している町であるという事を、児童達はもちろんの事、町内外に広く知って頂くための取り組みも早急に構築頂きたい旨を教育委員会に対し要望した。

世界中でSDGs（Sustainable Development Goals）への取り組みが進んでおり、本町でも各事業に紐づけられた取り組みが本格的に始まり出した。

併せて熊取町教育方針に、ESD（Education for Sustainable Development）教育（将来にわたり、子ども達がより良い世界で生活していく為の「社会の創り手の育成教育」）の重要性が盛り込まれ、これを受け議会から教育委員会に対し、本町の小・中学校児童に対してのESD教育の取り組み内容や、取り組む事による学習の効果、現状の課題等を議員向けの勉強会という形で開催を要望し、実現した。

勉強会では、児童に対し学校での総合的な学習の時間等を使い「think globally act locally（地球規模で考え、足元から行動せよ）」の視点



# Friendship

北中



南中

熊中

3 中学校の運動会 コロナに負けないぞ！

## 議会報告会 ～議会とミーティング～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
現在開催を見合わせています。

## 12月定例会予定

議事の進み具合により、会議が終了している場合があります。  
日程は変更する場合があります。事前にお問い合わせください。(議会事務局 072-452-9023)

### みんなの議会、 傍聴しませんか？

会議はいずれも  
**午前10時**からです。  
(議会運営委員会は  
両日とも午後1時30分  
からです。)

**本会議の日程** 12月2日(木)・3日(金)・16日(木)  
[予備日]12月6日(月)

**委員会の日程** 議会運営委員会 11月25日(木)・12月8日(水)  
事業厚生常任委員会 12月8日(水)  
総務文教常任委員会 12月9日(木)

## 編集後記

10月から新型コロナウイルス対策の制限は全国一律解除されました。しかし、今もコロナ禍である事に変わりはありません。

「三密回避・手洗い・マスク」の基本対策を忘れず、日々の社会生活を送りましょう。

9月議会は、令和2年度の決算や町政全般に関わる内容を審議しました。

今後も、町政や議会に関心を持って頂けるよう、より分かりやすい、親しみやすい「議会だより」の編集・発行に努めて参ります。

(B・S)

### 広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 河合 弘樹 |
| 副委員長 | 文野 慎治 |
| 委員   | 大林 隆昭 |
| 委員   | 坂上 昌史 |
| 委員   | 鯉谷 陽子 |
| 委員   | 渡辺 豊子 |
| 委員   | 田中 圭介 |